



平成 29 年 1 1 月 3 0 日

河川における魚類のへい死の発生について (第 3 報)

平成 29 年 1 1 月 29 日付けで発表しました「河川における魚類のへい死の発生について」に関して、原因究明のため水質分析を実施していましたが、その結果が判明したのでお知らせします。

1. 分析結果

pH、D0、全シアン、残留塩素、農薬類（294種類）について分析した結果は別紙のとおりです。

水質に異常はなく原因の特定には至りませんでした。

※分析機関：岡山県環境保健センター

2. 今後について

特段の異常が見られない場合、本報で情報提供を終わります。

問	い	合	わ	せ	先
岡山三川水質汚濁防止連絡協議会 事務局 中国地方整備局 岡山河川事務所 電話 086-223-5196（防災情報課直通） 【担当者】 副所長（調査） 下山 茂（内線205） 防災情報課長 <small>なるしま</small> 成島 大輔（内線281）					
なお、水質の分析結果に関する問い合わせは以下にお願いします。 岡山県環境文化部 環境管理課 電話 086-226-7301 【担当者】 河辺、井戸					

平成29年11月29日に金剛川で発生した魚類のへい死事象 における河川水の分析結果

pH、DOは環境基準に適合しており、残留塩素や全シアン、農薬類も検出されなかったことから、原因の特定には至らなかった。

【分析結果】

採水地点	No. 1 (堰1：下流側)	No. 2 (堰2：上流側)	備考 (環境基準*)
項目			
採水日時	11月29日 12:10	11月29日 14:20	金剛川水域 (A類型)
pH (水素イオン濃度)	6.8	6.9	6.5~8.5
DO (溶存酸素量) (mg/L)	10	11	7.5mg/L以上
全シアン (mg/L)	検出せず	検出せず	検出されないこと
残留塩素 (mg/L)	検出せず	検出せず	
農薬類 (294種類)	検出せず	検出せず	

*環境基準：人の健康保護と生活環境の保全の上で維持されることが望ましい基準

採水地点

